



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月15日

上場会社名 株式会社 マルヨシセンター

上場取引所 東

コード番号 7515 URL <http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 佐竹 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 加藤 宏道
兼 CFO 管理本部長

TEL 087-874-5511

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	10,869	3.5	80	△20.3	70	△25.7	40	△30.0
2026年2月期第1四半期	10,506	6.5	101	9.7	94	2.8	57	△11.2

(注)包括利益 2027年2月期第1四半期 70百万円 (△3.3%) 2026年2月期第1四半期 73百万円 (△9.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	43.27	—
2026年2月期第1四半期	61.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	17,001	3,577	19.4
2026年2月期	16,636	3,534	19.7

(参考)自己資本 2027年2月期第1四半期 3,304百万円 2026年2月期 3,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2027年2月期	—				
2027年2月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	2.3	180	△47.0	140	△56.8	10	△92.4	10.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	934,999 株	2026年2月期	934,999 株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	185 株	2026年2月期	185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	934,814 株	2026年2月期1Q	934,848 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年3月1日～2026年5月31日）におけるわが国の経済は、一部では大幅な賃上げにより実質賃金にも改善の兆しが見られ、緩やかな経済回復が予想されるものの、米国の関税政策の影響、米中対立の動向、中東情勢やロシア・ウクライナ戦争など地政学リスクは継続しており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

個人消費につきましては、消費支出は増加の兆しがあるものの、継続する物価上昇の影響で依然として消費マインドは低調に推移しております。

小売業界におきましても、物価上昇による将来への不安による購買意欲の低下、労働需要の逼迫に伴う人件費関連コストの増加、エネルギー価格の高騰に伴う光熱費や運賃等の経費の増加など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況の中、当社では、「個店の力／競争力」を引き上げるにより各地域での個店シェアを拡大し、一番店を目指す「四国戦略」を経営戦略とし、その目的達成のために、会社理念である「健康とおいしさ」をキーワードに「マルヨシクオリティ」の更なる向上を目指しております。その取り組みの一つとして、「味Gメン」による味と品質のチェックを継続するとともに、生鮮食材を使用した生鮮惣菜の開発など商品の味と鮮度、魅力度向上のための取り組みを進めております。また、お客様が「求める品質」の商品が「必要な量」「必要な時間」「適正な価格」で揃う時間帯別売場管理（売場の機能的価値）を徹底していくとともに、お買物をわくわくドキドキ楽しんでいただけるよう商品情報POPや映像を使用したお客様の感情に訴える売場作り（売場の情緒的価値）の強化を行っております。さらに、接客サービスをこれまでよりも一歩進め、「ホスピタリティ」を意識した接客サービスを目指し、より深い「お客様中心」のサービスの構築を図っております。このような取り組みを通じて、より多くの店舗で地域一番店を目指します。

また、当社オリジナル商品につきましても、子会社の㈱フレッシュデポの製造ラインの見直しと製造機器の更新を実施し、商品の選択と集中による製造効率の向上及び品質の引上げを進めております。

一方、深刻な人手不足による採用競争の激化、最低賃金の引上げ、物価上昇に伴う賃上げなどによる人件費の増加については、四国戦略の第一号店である三加茂店の人時生産性の改善事例を参考に各店舗の教育を行い、管理職のみならず若手社員のスキルアップに努め、一人ひとりの能力を底上げすることで、人員不足への対応と一人当たりの荒利高の引上げを目指しております。

このような取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は103億29百万円（前年同期比3.6%増）と好調に推移したものの、原油価格の上昇に伴う物価上昇、人件費の増加などにより、営業利益は80百万円（前年同期比20.3%減）、経常利益は70百万円（前年同期比25.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、現金及び預金が2億21百万円、売掛金が2億36百万円増加したことなどにより、前期末に比べ4億32百万円増加し、38億74百万円となりました。

有形固定資産は、前期末に比べ98百万円減少の107億8百万円、無形固定資産は、前期末に比べ25百万円減少し、5億63百万円となりました。

投資その他の資産は、株価の上昇に伴い投資有価証券が29百万円、繰延税金資産が30百万円増加したことなどにより、前期末に比べ56百万円増加の18億53百万円となりました。

（負債）

負債は、前期末に比べ3億21百万円増加し、134億23百万円となりました。その主な内訳は、有利子負債が1億97百万円減少した一方で、買掛金が4億63百万円、賞与引当金が1億9百万円増加したことなどによるものであります。

（純資産）

純資産は、利益剰余金が12百万円、その他有価証券評価差額金が19百万円増加したことなどにより、前期末に比べ42百万円増加し、35億77百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2026年4月15日発表の業績予想から変更しておりません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,235	1,144,787
売掛金	801,141	1,037,647
商品	1,520,413	1,450,156
その他	197,558	242,132
流動資産合計	3,442,348	3,874,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,066,399	17,083,752
減価償却累計額	△13,577,304	△13,669,905
建物及び構築物（純額）	3,489,095	3,413,847
機械装置及び運搬具	1,899,582	1,903,133
減価償却累計額	△1,640,805	△1,652,053
機械装置及び運搬具（純額）	258,777	251,080
工具、器具及び備品	2,714,883	2,725,152
減価償却累計額	△2,427,201	△2,444,577
工具、器具及び備品（純額）	287,682	280,575
土地	6,610,981	6,610,981
リース資産	561,845	561,845
減価償却累計額	△400,792	△409,588
リース資産（純額）	161,053	152,256
有形固定資産合計	10,807,590	10,708,742
無形固定資産	589,320	563,993
投資その他の資産		
投資有価証券	538,925	567,943
繰延税金資産	452,823	482,947
差入保証金	770,591	767,988
その他	67,331	67,312
貸倒引当金	△32,720	△32,720
投資その他の資産合計	1,796,951	1,853,471
固定資産合計	13,193,862	13,126,207
繰延資産		
社債発行費	747	607
繰延資産合計	747	607
資産合計	16,636,958	17,001,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,528,527	3,991,851
短期借入金	616,800	612,000
1年内償還予定の社債	88,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	1,834,537	1,894,580
未払法人税等	145,002	78,837
賞与引当金	128,520	237,999
契約負債	91,215	93,781
その他	1,286,004	1,293,955
流動負債合計	7,718,607	8,273,004
固定負債		
社債	115,000	83,500
長期借入金	3,534,084	3,330,747
リース債務	141,975	131,823
退職給付に係る負債	1,134,935	1,147,935
役員退職慰労引当金	68,108	69,767
資産除去債務	119,957	120,513
その他	269,586	266,653
固定負債合計	5,383,646	5,150,939
負債合計	13,102,254	13,423,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	517,745	517,745
利益剰余金	1,517,812	1,530,213
自己株式	△732	△732
株主資本合計	3,112,824	3,125,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,741	213,516
退職給付に係る調整累計額	△36,228	△34,688
その他の包括利益累計額合計	157,512	178,828
非支配株主持分	264,365	273,540
純資産合計	3,534,703	3,577,594
負債純資産合計	16,636,958	17,001,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	9,968,730	10,329,221
売上原価	7,671,104	7,929,965
売上総利益	2,297,626	2,399,256
営業収入	537,645	540,435
営業総利益	2,835,272	2,939,692
販売費及び一般管理費		
販売促進費	73,748	70,701
消耗品費	54,954	67,725
運賃	141,440	134,467
賃借料	8,594	9,866
地代家賃	180,957	181,380
修繕維持費	102,694	123,062
給料手当及び賞与	1,161,218	1,244,648
福利厚生費	178,813	190,323
賞与引当金繰入額	92,097	99,366
退職給付費用	17,137	17,379
役員退職慰労引当金繰入額	1,945	1,659
水道光熱費	221,013	202,694
減価償却費	124,549	130,583
その他	374,575	384,949
販売費及び一般管理費合計	2,733,739	2,858,807
営業利益	101,532	80,885
営業外収益		
受取利息及び配当金	235	322
受取手数料	1,193	1,183
受取保険金	325	450
保険配当金	2,354	-
リサイクル材売却益	1,489	1,423
その他	2,431	2,979
営業外収益合計	8,030	6,359
営業外費用		
支払利息	13,481	14,462
その他	1,761	2,677
営業外費用合計	15,243	17,140
経常利益	94,318	70,105

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
特別利益		
固定資産売却益	227	-
投資有価証券売却益	490	-
特別利益合計	717	-
特別損失		
固定資産除却損	2,667	0
投資有価証券売却損	365	-
特別損失合計	3,032	0
税金等調整前四半期純利益	92,004	70,105
法人税、住民税及び事業税	68,706	59,837
法人税等調整額	△43,299	△39,214
法人税等合計	25,406	20,622
四半期純利益	66,597	49,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,789	9,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,808	40,445

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	66,597	49,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,184	19,775
退職給付に係る調整額	436	1,540
その他の包括利益合計	6,621	21,315
四半期包括利益	73,218	70,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,441	61,623
非支配株主に係る四半期包括利益	8,776	9,174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	158,127千円	163,882千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

当社グループは、報告セグメントが小売事業のみであり、当社の経営成績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」には、レストラン等が含まれております。